

科目名	平面造形演習		Subject	Surface Modeling Practice	
サブタイトル	さまざまな絵具の特質の理解、およびそれらを用いた平面作品の制作				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装	
1 年	後期	必修			
授業形態	単位	時間			
演習	4 単位	60 時間	◎		
ゲストスピーカー招聘回		なし			
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.kurimoto・・・	
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】				
実践的教育	×				
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。				

科目の概要																	
絵画作品に用いられる水彩絵具や油絵具、アクリル絵具を用いて平面作品を制作します。それぞれの絵具の特質や魅力を知り、一つの作品にしっかりと時間をかけて制作を行います。授業を通して造形力や応用力を高め、創意工夫する力や表現力を身につけることによって修了研究への土台とします。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		-		-		○							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
美容芸術		平面作品の制作を通して造形力や応用力を高めることによって質の高い作品を制作することができる。また、創意工夫する力や表現力、プレゼンテーション力を身につけることで、自分らしい作品を制作できると同時に自己の作品を客観的に評価することができる。															
教科書・教材																	
教科書		なし															
参考文献		アトリエ美術技法百科（油彩画）/美術出版社、アトリエ美術技法百科（アクリル画の色彩技法）/美術出版社															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
-		-		10%		-		-		10%		80%		-		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
個別に実地指導を行います。																	
履修上の条件・注意																	
時間外学習としては予習復習に限らず、美術館での作品鑑賞およびテレビやネットでの美術作品閲覧の時間も含む。 また、学苑祭では作品展示を行い、自作を客観的に評価するとともに鑑賞者とコミュニケーションを取り作品制作につなげる。																	
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 回	オリエンテーション	さまざまな平面作品の材料や技法があることを知り、識別することができる。	画集やネットを見てさまざまな平面作品の材料や技法について調べる。	240 分
第 2 回	アクリル画制作① 技法解説	アクリル画の技法や特質を知り説明することができる。	画集やネットを見てアクリル画の材料や技法について調べる。	240 分
第 3 回	アクリル画制作② 対象物選定	アクリル画で描くことを想定して対象物を選定することができる。	前回の続き	240 分
第 4 回	アクリル画制作③ 下描き	キャンバスに正しく下書きを描くことができる。	画集やネットを見てアクリル画の作品や作者について調べる。	240 分
第 5 回	アクリル画制作④ 制作（描画）	アクリル絵の具の特性を利用して描くことができる。	前回の続き	240 分
第 6 回	アクリル画制作⑤ 完成	画面全体のバランスを見ながら作品を表現することができる。	画集やネットを見てアクリル画作品における技法の効果や表現方法について調べる。	240 分
第 7 回	油画制作① 技法解説	油画の技法や特質を知り説明することができる。	画集やネットを見て油画の材料や技法について調べる。	240 分
第 8 回	油画制作② 対象物（人物）選定	油画で描くことを想定して対象物を選定することができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	油画制作③ 下描き	キャンバスに正しく下書きを描くことができる。	画集やネットを見て油画の作品や作者について調べる。	240 分
第 1 0 回	油画制作④ 制作（描画）	油絵の具の特性を利用して描くことができる。	前回の続き	240 分
第 1 1 回	油画制作⑤ 制作（描画塗り重ね）	油絵の具の特性を利用して描き、塗り重ねることができる。	前回の続き	240 分
第 1 2 回	油画制作⑥ 制作（構成バランス）	画面全体の構成におけるバランスを見ながら描くことができる。	画集やネットを見て油画作品における技法の効果や表現方法について調べる。	240 分
第 1 3 回	油画制作⑦ 制作（明暗バランス）	画面全体の明暗におけるバランスを見ながら描くことができる。	前回の続き	240 分
第 1 4 回	油画制作⑧ 作品完成	画面全体の構成や色彩を見ながら作品を表現することができる。	調べた油画作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 1 5 回	鉛筆淡彩① 技法解説	鉛筆淡彩の技法や特質を知り説明することができる。	画集やネットを見て鉛筆淡彩の材料や技法について調べる。	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第16回	鉛筆淡彩② テーマ（人物とモチーフ）選定	鉛筆淡彩で描くことを想定して人物とモチーフを選定することができる。	前回の続き	240分
第17回	鉛筆淡彩③ 制作（画面構成）	人物とモチーフのバランスを考えながら画面を構成することができる。	画集やネットを見て油画作品における技法の効果や表現方法について調べる。	240分
第18回	鉛筆淡彩④ 制作（鉛筆描画）	画面全体の濃淡を見ながら鉛筆で描くことができる。	前回の続き	240分
第19回	鉛筆淡彩⑤ 制作（着色）	画面全体の色彩を意識しながら透明水彩絵の具で着色することができる。	調べた鉛筆淡彩作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法について研究する。	240分
第20回	鉛筆淡彩⑥ 作品完成	画面全体の濃淡や色彩を見ながら作品を表現することができる。	前回の続き	240分
第21回	自由制作① 画材設定（F20号キャンバスまたはB2水彩ボード使用）	油画、アクリル画、鉛筆淡彩画などの違いや特質を詳しく説明することができる。	画集やネットを見て技法の違いによる効果について調べる。	240分
第22回	自由制作② テーマ選定	油画、アクリル画、鉛筆淡彩画など、自分で決めた技法で描くことを想定して、テーマを選定することができる。	前回の続き	240分
第23回	自由制作③ 下描き	正しく下書きを描くことができる。	画集やネットを見て作者ごとの技法の特性について調べる。	240分
第24回	自由制作④ 制作（描画）	技法の特性を利用して描くことができる。	前回の続き	240分
第25回	自由制作⑤ 制作（描画の重ね）	技法の特性を利用して描き重ねることができる。	前回の続き	240分
第26回	自由制作⑥ 制作（構成バランス）	画面全体の構成におけるバランスを見ながら描くことができる。	画集やネットを見て油画作品における技法の効果や表現方法について調べる。	240分
第27回	自由制作⑦ 制作（色彩バランス）	画面全体の色彩におけるバランスを見ながら描くことができる。	前回の続き	240分
第28回	自由制作⑧ 作品完成	画面全体の構成や色彩を見ながら作品を表現することができる。	調べた油画作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240分
第29回	プレゼンテーション① 作品解説	平面造形演習で制作した作品をふり振り返り発表することにより、各材料や技法による表現の特性を理解し自己の作品を解説できる。	平面造形演習で制作した作品の振り返りとまとめ	240分
第30回	プレゼンテーション② 作品批評	平面造形演習で制作した作品の発表を基に他者の作品について意見を述べ、批評することができる。	平面造形演習で制作した作品と他の作品を比較して研究する。	240分